

コロナ禍で困窮する若手の撮影助手をソニーが支援

COVID-19

新型コロナウイルス感染症新型肺炎の拡散で、エンタテインメントに限らず映像の制作現場は一様に撮影を中断、当面の延期となりました。

一年を越える長期の延期や、余儀なく製作を中止する作品もあります。

スポーツやコンサートなど、イベントに携わる映像業務は目処が立ちません。

業界はかつてない災禍に見舞われています。

制作活動が混迷する中、撮影現場を支えているフリーランス、特に若手の撮影助手の活動継続に深刻な影響を及ぼしています。

カメラオペレーター（撮影助手）への支援の開始

日本映画撮影監督協会（JSC）が「新型コロナウイルス・ソニーグローバル支援基金」から寄付を受けます。

コロナ禍で困窮している映像クリエイターへの、ソニーの寛大な支援策によります。

ソニーは、ASC、IMAGO、他カメラオペレーター等が所属する世界の主要な組織に対して多大な寄付を開始しました。

多くのカメラオペレーター（撮影助手）に、活動継続のための支援として役立つでしょう。

JSC

ソニーの支援に対し、深く感謝の意を表します。

基金の目的に敬意を持って賛同します。

支援の趣旨を遵守し、迅速に役立てます。

日本映画撮影監督協会 理事長 浜田 毅

「新型コロナウイルス・ソニーグローバル支援基金」

https://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/community/covid19_fund/

報道資料（2020年6月24日）

<https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/202006/20-049/>

JSC 速報（2020年7月1日）